

請願第4号

北陸新幹線の延伸の撤回を求める請願

紹介議員
杉谷伸夫

北陸新幹線の延伸の撤回を求める請願

請願の要旨

- 1 向日市議会において北陸新幹線の延伸に反対する決議を求めます。
- 2 国に対し、北陸新幹線延伸を白紙撤回するよう求める要望書を提出していただくことを求めます。

請願の理由

現在、参院選の結果を受けて、北陸新幹線の敦賀以西の延伸に関して米原ルートや舞鶴ルートの再検討が行われていますが、そこに北陸新幹線の延伸をしないという選択肢は含まれていません。私は以下の理由から北陸新幹線の延伸について反対しています。

1 成熟社会に合わない

最大5.3兆円とされている建設費はさらに増える可能性があると思います。

日本は人口が減少しているため、将来の世代の負担はより大きくなります。このことを考慮すると、新たなインフラの整備ではなく、既存のインフラの維持管理にお金を使うべきだと考えられます。

北陸新幹線の延伸の目的は、国民経済の発展、国民生活領域の拡大、地域の振興や、速達性、利便性（一本で行けるかどうか）の向上、さらに災害時のリダンダンシーの確保とされています。

しかしながら、整備計画が作られた1973年とは異なり、成熟社会において、経済発展が良いという前提は崩れ去っています。したがって国民経済の発展に資することを目的とするべきではないと考えます。

既に国民生活領域は広がっており、さらに拡大する必要があるとは言い難いです。

また、新幹線の開通により、通る地域と通らない地域で差が出ることを考えると、地域の振興につながるかはもっと慎重に検討すべきです。

現行の敦賀乗り継ぎでも十分速く、これ以上の速達性向上と、利用者の利便性向上を国民が求めているとは一概には言えません。

そして、北陸新幹線延伸の理由の一つとして災害時のリダンダンシーの確保が挙げられていますが、東海道新幹線の代わりとしては現状（敦賀乗り換え）で十分だと考えます。

2 環境等への影響

鉄道・運輸機構の資料にある、三次元水循環解析モデルの設定条件が十分に公開されておらず、再現性があるとは考えられません。そのモデルに基づき地下水利用に影響を与えないと結論づけていますが、掘ってみないと分からないです。

ヒ素を含む残土が出る可能性が高く、受け入れ先が決まっていないことや、工事等により景観が損なわれる恐れがあることが問題だと思います。

文化財への影響や生態系（丹波国定公園など）への影響を懸念しています。

トラックの通過や工事により人々の（特に美山など）くらしが脅かされる恐れがあります。

3 安全性への懸念

都市トンネルの立坑の間隔が最大10kmとなるため、事故・自然災害の発生時に安全にトンネルから脱出できるのか疑問です。

以上のことを踏まえ、向日市議会において北陸新幹線の延伸は本当に必要なのかもう一度真剣に議論していただきたいと思います。

令和7年8月27日

請 願 者

向日市議会議長 山 田 千枝子 様